様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　7 年　　6 月　 30 日

富山県知事

新田　八朗　　殿

提出者

住　所　　富山県滑川市上梅沢４８０番地

氏　名　太平建設工業株式会社
代表取締役　外川　善貴

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　076-475-6565

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

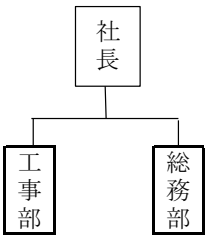
事業場の名称	太平建設工業株式会社
事業場の所在地	富山県滑川市上梅沢４８０番地
計画期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　1億6100万円
③　従業員数	15人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場 → 収集運搬 → 処理場　中間処理・再生利用 産廃発生　As殻　Co殻 自社運搬　委託運搬 委託処理 ※ 許可を受けている収集運搬業者および処理業者を選定する

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

組織図



社　長：産業廃棄物の処理に係る事項の総括責任者

工事部：マニフェストの交付・管理

収集運搬業者、処理業者との委託契約の締結

総務部：マニフェストの保管・管理

産業廃棄物の処理に係る事務作業

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト片	コンクリート片
排出量	1096.01 t	702.06 t

（これまでに実施した取組）

現場にて、廃棄物の分別を徹底し、排出抑制に努めている。
また、再生砕石、再生材入りアスファルト合材、リサイクル認定製品を利用し、循環型社会の形成に取り組んでいる。

②計画

【目標　（ 令和 7 年度）計画】

産業廃棄物の種類	アスファルト片	コンクリート片
排出量	1,000 t	600 t

（今後実施する予定の取組）

受注高、工事内容により廃棄物の年間排出量は増減する。また、近年は新設工事は減少し、改修工事、維持修繕工事が多い傾向にあるため、排出量も増加傾向となりやすい。　しかし、引き続き分別の徹底を実施し、適正な処理及び再生利用に取り組むこととしている。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト、無筋コンクリート、有筋コンクリート、二次製品コンクリートに分別し、委託処理場へ搬出。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引続き、上記のとおり分別して委託処理場へ搬出する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルト片	コンクリート片
	全処理委託量_	1096.01 t	702.06 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1096.01 t	702.06 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者を選定し契約終結を行った上で、委託処理をしている。また、廃棄物の搬入に際してはマニフェストを交付し、相互で管理している。		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>アスファルト片</td><td>コンクリート片</td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>1000 t</td><td>600 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1000 t</td><td>600 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
前年と同様に、分別の徹底、廃棄物の抑制・再利用に努め、適切な処理を実施していく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>